



追加型投信／内外／株式

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

(為替ヘッジあり)予想分配金提示型／(為替ヘッジなし)予想分配金提示型

2025年4-6月の当ファンドの運用状況

ファンド情報提供資料
データ基準日：2025年6月30日

・本資料はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの資料・コメントを基に作成しています。

本資料の
3つのポイント

1. 2025年4-6月の運用状況(P1-2)
2. 2025年4-6月のパフォーマンス寄与度上位・下位5銘柄と売買動向(P3-5)
3. 「為替ヘッジなし」が R & I ファンド大賞 2025 最優秀ファンド賞受賞(P6)

2025年4-6月の市況動向と運用状況

【市況動向(世界株式)】

4月の株式市場は、トランプ関税に一喜一憂する展開となりました。月初の米国相互関税発動直後に世界株式は大幅安となった一方、トランプ米大統領による関税引き上げ幅縮小の可能性や米連邦準備理事会(FRB)議長解任を否定した発言などが好感され月末にかけ急速に持ち直す展開となりました。5月の株式市場は、堅調となりました。米国相互関税上乘せ分発動延期や米中の関税大幅引き上げ撤回合意などを受け、世界経済失速懸念が一段と和らぎました。6月も、大型ハイテク企業の業績堅調が確認されたことなどから、世界株式は上昇しました。

また、大規模な相互関税を受けた米景気懸念などから、期間において円高米ドル安が進行しました。

【当ファンドの運用状況】

マザーファンドは、先進国株式指数をけん引した大手半導体・半導体製造装置関連企業や大手メディア・娯楽関連企業を保有していなかったことや、一部組入銘柄の業績ガイダンス引き下げによる株価下落などから、0.6%の上昇にとどまりました。

設定来のマザーファンドの推移

(期間：2012年2月17日～2025年6月30日)



2012年2月17日 2017年2月17日 2022年2月17日

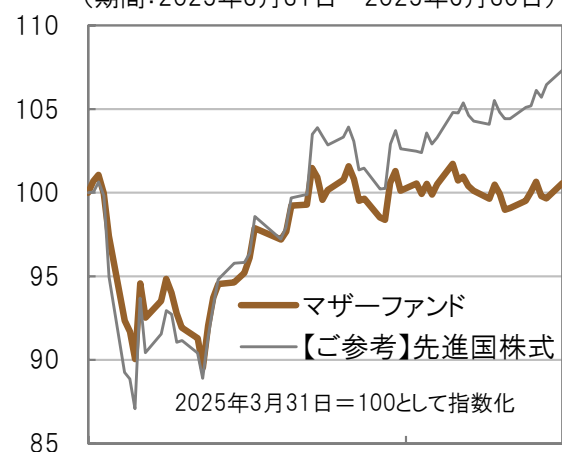
(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・マザーファンドはファンドの実際の運用を行うモルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドです。マザーファンドでは、運用管理費用(信託報酬)はかかりません。当ファンドでは信託報酬がかかるため上記マザーファンドのパフォーマンスとは異なります。・先進国株式は米ドルベースの指数(配当込み)を使用しており、三菱UFJアセットマネジメントが円換算しています。同指数は、マザーファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。指数は、市況推移の参考として掲載しており、当ファンドおよびマザーファンドのベンチマークではなく、当ファンドの運用実績を示すものではありません。・指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

2025年4-6月のマザーファンドの推移

(期間：2025年3月31日～2025年6月30日)



2025年3月31日

2025年5月31日

4-6月の
騰落率先進国株式
7.3%マザーファンド
0.6%

・本資料は、「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン」をご理解いただくために運用状況を説明したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

・各ファンド名を「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」、「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」、これらを総称して「当ファンド」または「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン」、各々を「各ファンド」ということがあります。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

マザーファンドのパフォーマンスにおける業種等の要因

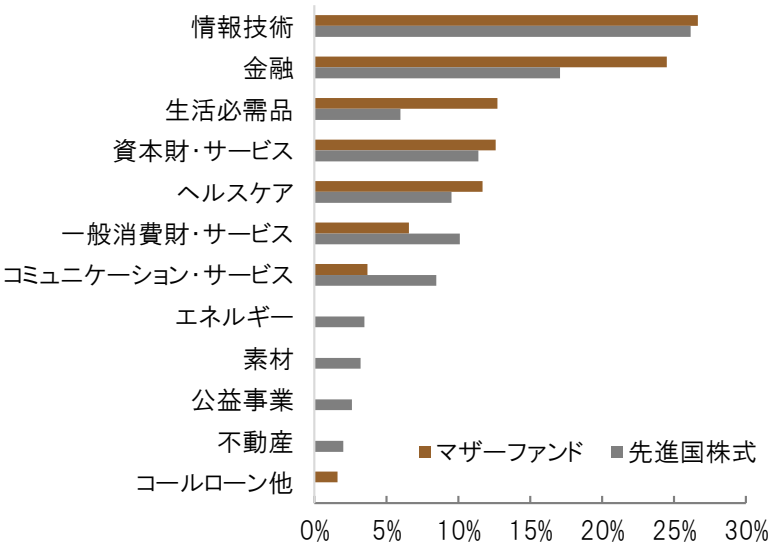
当ファンドは、有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続けることが期待されるプレミアム企業に集中投資を行います。2025年6月末時点では、情報技術、金融、生活必需品などの業種の組入れが多くなっています。

【先進国株式との比較】

2025年4-6月の先進国株式と比べたマザーファンドのパフォーマンスにおいて、金融、ヘルスケア、情報技術、資本財・サービスの業種内における銘柄選択などがマイナス要因となりました。また、相対的にパフォーマンスの悪かった生活必需品、ヘルスケアの組み入れが先進国株式に比べて多かったことなどもマイナス要因となりました。一方、相対的にパフォーマンスの悪かったエネルギーの非保有などがプラス要因となりました。

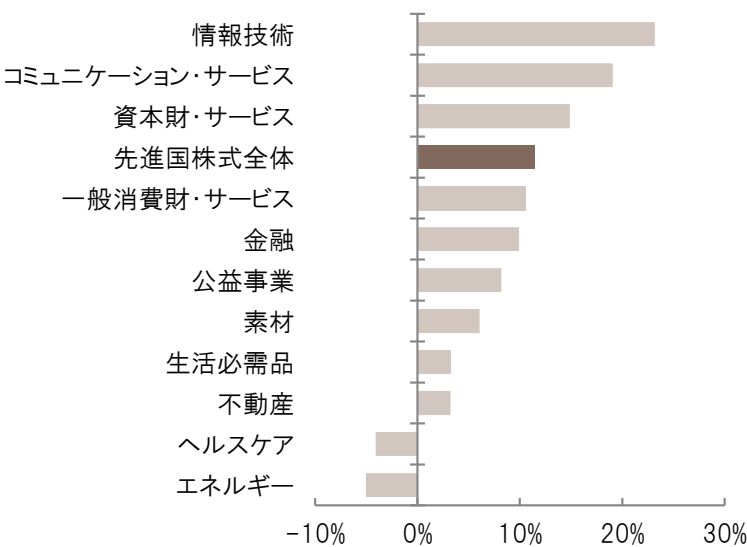
マザーファンドの業種配分

(2025年6月末時点)



先進国株式業種別騰落率

(期間: 2025年3月31日～2025年6月30日)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・先進国株式業種別騰落率は、米ドルベースの各業種別指数(税引き後配当込み)の値を使用しています。・指数は、市況の参考として掲載しており、当ファンドおよびマザーファンドのベンチマークではなく、当ファンドの運用実績を示すものではありません。・指数については【本資料で使用する指数について】をご覧ください。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

マザーファンドの組入上位10銘柄(2025年6月末時点)

組入銘柄数: 34銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	9.6%
2 SAP	ドイツ	情報技術	7.9%
3 ビザ	アメリカ	金融	6.3%
4 ロレアル	フランス	生活必需品	4.6%
5 エーオン	アメリカ	金融	4.2%
6 コカ・コーラ	アメリカ	生活必需品	3.7%
7 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.7%
8 ブッキング・ホールディングス	アメリカ	一般消費財・サービス	3.6%
9 アクセンチュア	アイルランド	情報技術	3.5%
10 ローパーテクノロジーズ	アメリカ	情報技術	3.1%

・国・地域はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドが定義した区分に基づいています。

・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・原則として、比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

2025年4-6月のパフォーマンス寄与度上位5銘柄

(期間: 2025年3月31日～2025年6月30日)

	銘柄名	業種	寄与度
1	マイクロソフト	情報技術	2.2%
2	SAP	情報技術	0.8%
3	ブックイング・ホールディングス	一般消費財・サービス	0.7%
4	オラクル	情報技術	0.6%
5	ロレアル	生活必需品	0.5%

・寄与度は上記期間中のマザーファンドの基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、概算値(円換算済み)です。そのため、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではなく、傾向を知るための参考値としてご覧ください。なお、マザーファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。

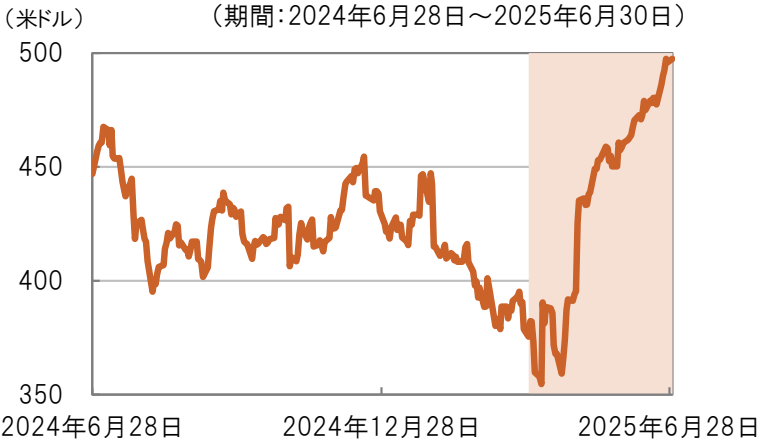
2025年4-6月のパフォーマンス寄与度上位銘柄のご紹介

マイクロソフト

【業種】情報技術
【組入順位/比率】1位/9.6%

- 1-3月期の決算は売上高、純利益ともに市場予想を上回ったことなどが好感されました。
- 特に中核事業であるクラウドサービス「Azure」が、AI需要などを背景に高い成長率を維持していることも評価され、株価は上昇しました。

■ 過去1年の株価推移

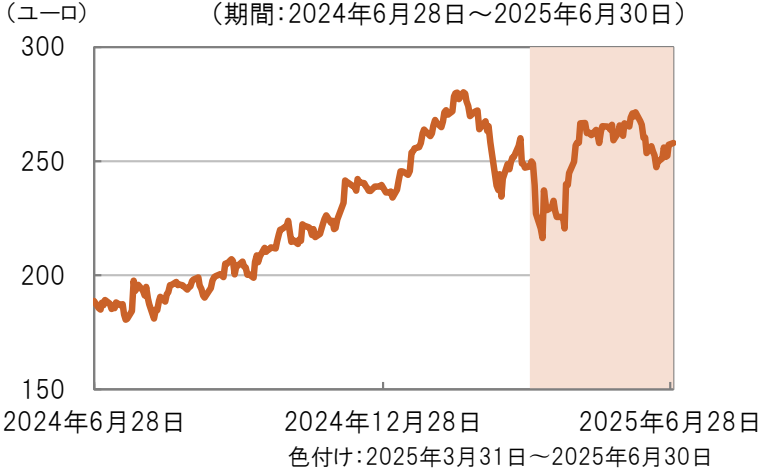


SAP

【業種】情報技術
【組入順位/比率】2位/7.9%

- 1-3月期の決算は、クラウドサービスの成長などにより営業利益が市場予想を上回ったことから、株価は上昇しました。
- 世界の潮流であるクラウド、DX、生成AIなどの進展は、同社の事業の追い風になるとみています。

■ 過去1年の株価推移



(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・原則として、組入比率は2025年6月末時点のマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度上位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮しておりません。

2025年4-6月のパフォーマンス寄与度下位5銘柄

(期間: 2025年3月31日～2025年6月30日)

	銘柄名	業種	寄与度
1	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	-1.0%
2	ベクトン・ディッキンソン	ヘルスケア	-0.8%
3	サーモフィッシャーサイエンティフィック	ヘルスケア	-0.6%
4	エーオン	金融	-0.6%
5	LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン	一般消費財・サービス	-0.4%

・寄与度は上記期間中のマザーファンドの基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、概算値(円換算済み)です。そのため、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではなく、傾向を知るための参考値としてご覧ください。なお、マザーファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。

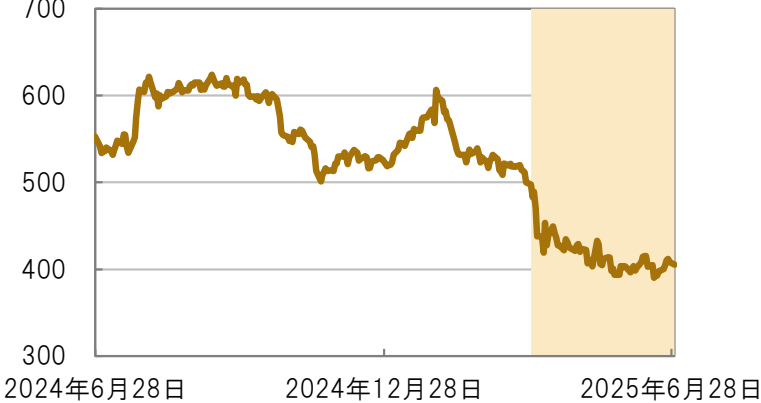
2025年4-6月のパフォーマンス寄与度下位銘柄のご紹介

サーモフィッシャーサイエンティフィック

【業種】ヘルスケア
【組入順位/比率】18位/2.6%

- 4月下旬発表のガイダンスにおいて関税の影響を理由に年間売上高と調整後利益の見通しを引き下げたことなどを背景に株価は下落しました。
- 市場では成長鈍化や根強いインフレへの懸念が続いており、中国市場の低迷も同社にとってマイナス要因となっています。

■ 過去1年の株価推移
(米ドル) (期間: 2024年6月28日～2025年6月30日)

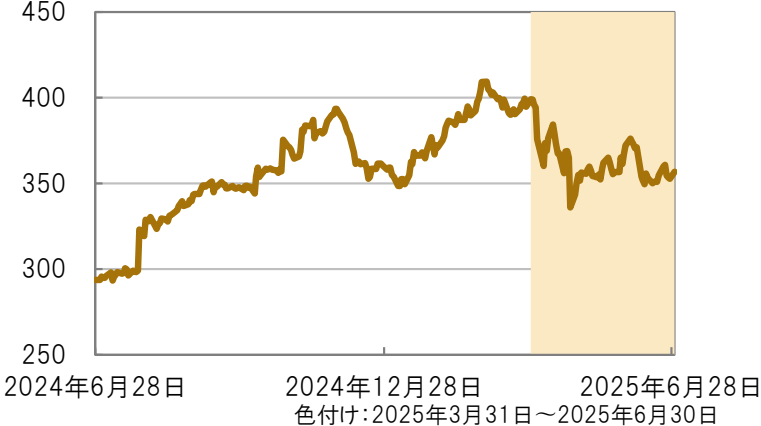


エーオン

【業種】金融
【組入順位/比率】5位/4.2%

- 1-3月期の決算は、市場予想を下回る成長となり下落しました。また、それまでの株価上昇が著しかったため、利益確定売りによって株価の下落が一層強まったとみています。
- 保険ブローカー業界の状況は依然として魅力的であり、中長期的な見通しも堅調な成長を見込んでいます。

■ 過去1年の株価推移
(米ドル) (期間: 2024年6月28日～2025年6月30日)



(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・原則として、組入比率は2025年6月末時点のマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮しておりません。

2025年4-6月の売買動向等

主な売買動向

2025年5月
全売却

ユナイテッドヘルス・グループ

【銘柄概要】

- 医療保険サービスなどを提供する米国の大手ヘルスケア企業。

【売却理由】

- 4月中旬発表の1-3月期決算が市場予想を下回り、また2025年ガイダンスが引き下げられて株価は急落しました。想定外の業績予想悪化を受けて、安定的な成長期待に関する懸念が生じたことから、4月下旬より売却を始めました。
- 5月中旬には2025年ガイダンスの取り消しとCEOの退社を発表し、株価は急落。同社の安定的な成長性への懸念を勘案して5月中旬に全売却しました。

2025年5月
全売却

ホロジック

【銘柄概要】

- 米国のヘルスケア企業で、主に女性疾患関連の医療機器・臨床検査を手掛ける。

【売却理由】

- マンモグラフィーでは米国において高いマーケットシェアを誇り、医者は慣れた機器を使い続けることが多いことから、新規参入は容易では無く同社は高い参入障壁を持つと考えられることなどを評価して組み入れていました。
- しかし、主力事業の婦人プレストケアの業績低迷が今後も続く見込みであること等の懸念から、5月上旬より継続的に売却し、中旬までに全売却しました。

2025年6月
全売却

ベクトン・ディッキンソン

【銘柄概要】

- 医療機器、診断技術を提供する世界有数の医療テクノロジー会社。

【売却理由】

- ライフサイエンス事業の一部を分離売却する計画がありますが、1-3月期決算を受けて売却が困難になる懸念が台頭し、業績期待が更に低下しました。
- 経営陣への信頼度低下、予想成長率が過去実績を下回り始めた事などを勘案して5月から継続的に売却し、6月初旬までに全売却しました。

(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2025年4-6月の売買動向銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

「為替ヘッジなし」が R&Iファンド大賞 2025 最優秀ファンド賞受賞

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)は、R&Iファンド大賞 2025 投資信託10年部門の「外国株式コア」カテゴリにおいて最優秀ファンド賞を受賞しました。R&Iファンド大賞は、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンなどを加味したうえで選考されます。

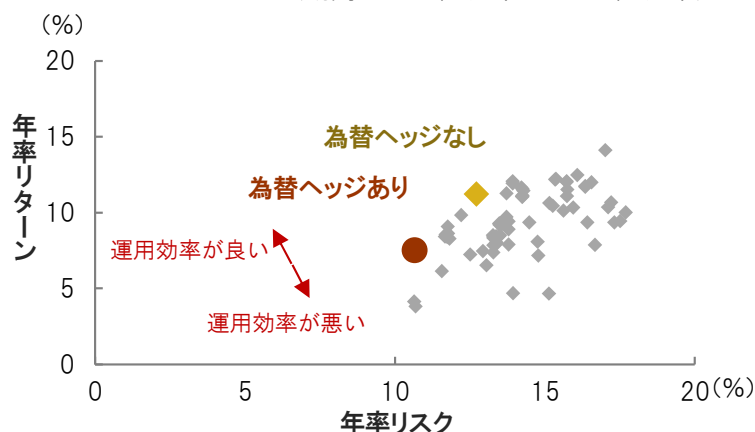
シャープレシオは一般に、 $\{(\text{ファンドのリターン}) - (\text{無リスク資産のリターン})\} \div (\text{ファンドのリスク})$ で計算されます。

Fundmark分類における、同分類ファンドの10年リスク・リターンをみると、「為替ヘッジなし」はリターン÷リスクの値が最も大きく、相対的に効率よくリターンをあげることができたといえます(左図)。

ドローダウンは、最高値からの下落率を表します。実際に、「為替ヘッジなし」の設定来ドローダウンの推移を見ると、チャイナ・ショック時は-20.4%、コロナ・ショック時は-29.9%、トランプ・ショック時は-16.3%と市場が大きく下落した局面で、先進国株式(円換算)と比べドローダウンが抑えられました。またチャイナ・ショック、コロナ・ショック時における下落局面の期間の長さ(最高値を更新するまでの期間)についても、それぞれ574日、196日と先進国株式(円換算)と比べ短くなっています(右図)。

同分類ファンドの10年リスク・リターン

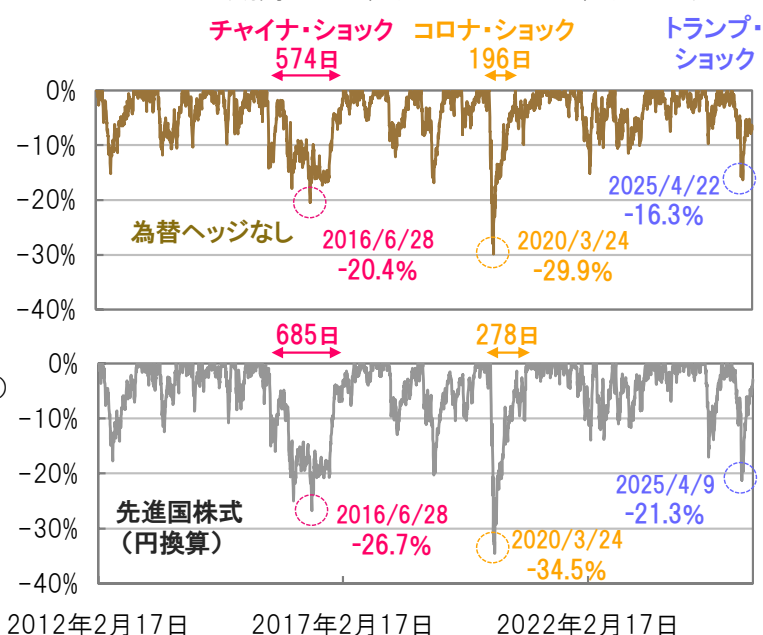
(期間:2015年6月末~2025年6月末)



(出所) Fundmark/DLのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成
・対象は、Fundmark分類:「海外株式/グローバル/日本含む」のうち、当該期間にデータが存在するファンドです。なお、R&Iファンド大賞のカテゴリとは異なります。・リスクとは、リターン(収益)のブレ(変動)の大きさのことです。リスクは月次騰落率の標準偏差を、リターンは月次騰落率の平均を年率換算したものです。・リスクとリターンは、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

為替ヘッジなしと先進国株式(円換算)の設定来ドローダウンの推移

(期間:2012年2月17日~2025年6月30日)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・ドローダウンとは、最高値からの下落率を表します。
・「為替ヘッジなし」は、基準価額(分配金再投資)を基に算出しています。基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。・先進国株式は米ドルベースの指数(配当込み)を使用しており、三菱UFJアセットマネジメントが円換算しています。同指数は、マザーファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。

指数は、市況推移の参考として掲載しており、当ファンドおよびマザーファンドのベンチマークではなく、当ファンドの運用実績を示すものではありません。・指数については【本資料で使用する指数について】をご覧ください。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。・R&Iファンド大賞については、【R&Iファンド大賞について】をご覧ください。・当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

(ご参考) 長期で良好なパフォーマンスをあげてきたグローバル・フランチャイズ

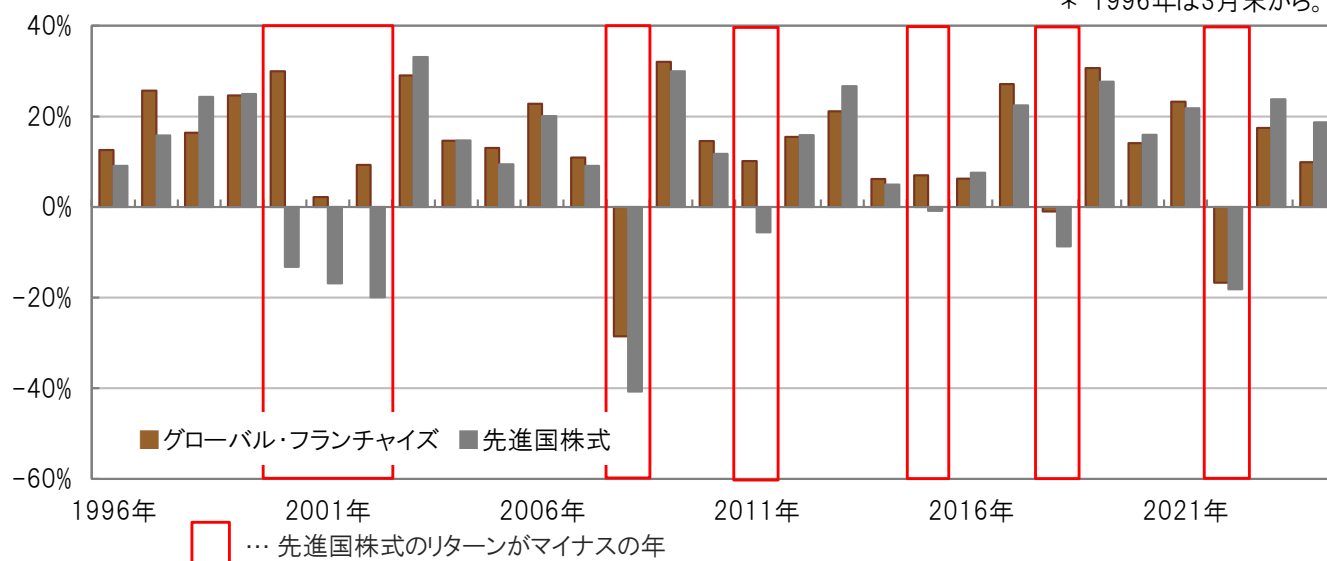
グローバル・フランチャイズの年次リターンを先進国株式と比較すると、先進国株式がマイナスとなった年にグローバル・フランチャイズが先進国株式を上回っていることがわかります。(上図)

グローバル・フランチャイズの平均月次騰落率をみると、株式市場が上昇した月は先進国株式ほど上昇していませんが、下落した月には下値抵抗力を発揮しました。下落を相対的に抑制することで、運用開始来で良好なパフォーマンスをあげてきました。(下図)

年次リターン

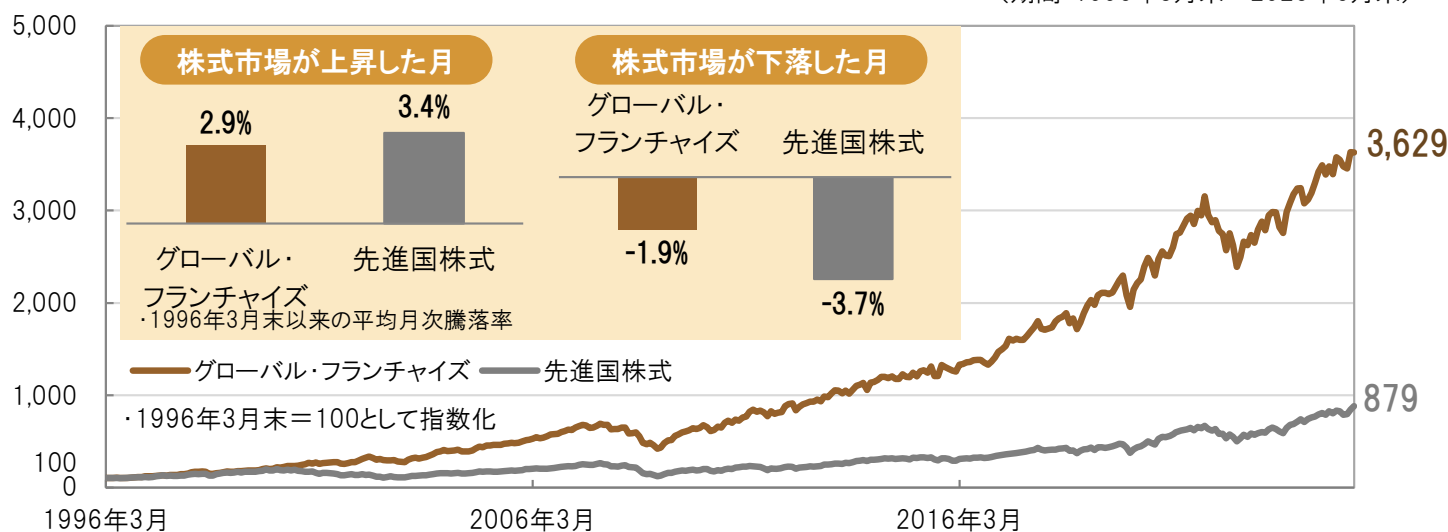
(期間: 1996年～2024年*)

* 1996年は3月末から。



運用開始来のパフォーマンス推移と株式市場が上昇・下落した月におけるパフォーマンス

(期間: 1996年3月末～2025年6月末)



(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・ 上記は、モルガン・スタンレー・グローバル・フランチャイズ・コンポジット* (運用報酬控除前、配当および収益再投資、本資料においてグローバル・フランチャイズ) のパフォーマンスを表しています。グローバル・フランチャイズは、「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド (以下、マザーファンド)」の運用指図権限の委託先であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドによって運用され、当ファンドが投資するマザーファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。グローバル・フランチャイズの運用開始日は1996年3月31日。*コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

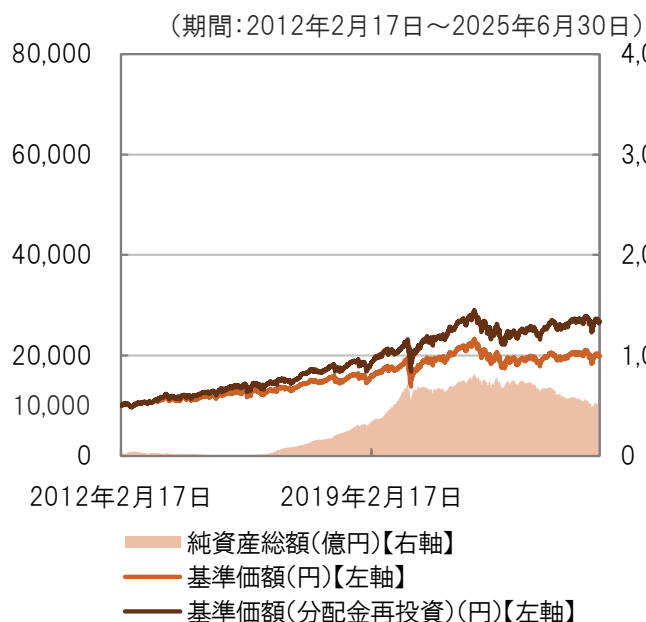
・ グローバル・フランチャイズは、米ドルベースのパフォーマンスを表しています。・ 先進国株式は、米ドルベースの指数 (配当込み) を使用しています。・ 指数は、市況推移の参考として掲載しており、グローバル・フランチャイズおよび当ファンドのベンチマークではなく、当ファンドの運用実績を示すものではありません。・ 指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

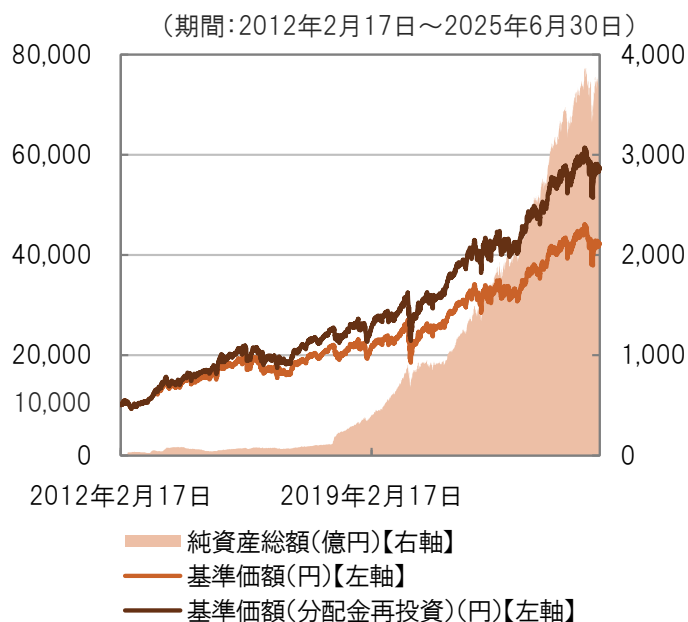
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

設定来の基準価額等の推移

為替ヘッジあり



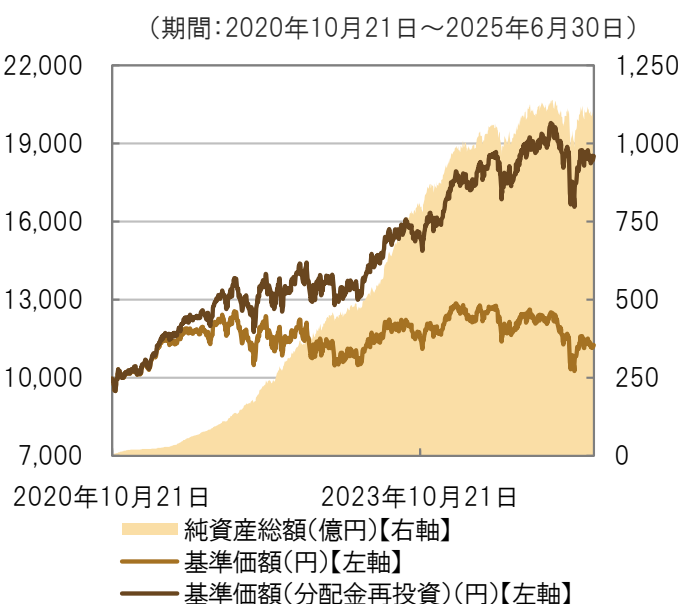
為替ヘッジなし



(為替ヘッジあり)予想分配金提示型



(為替ヘッジなし)予想分配金提示型



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

【本資料で使用する指数について】

■先進国株式: MSCI ワールド インデックス

指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

【GICS(世界産業分類基準)について】

GICS: Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

信託財産の成長を目指して運用を行います。

■ファンドの特色

【特色1】世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

・当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。

【特色2】銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

・収益性、財務内容の分析に加え、保有する無形資産や経営陣の質などから利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

・原則として、厳選した20～40銘柄に集中投資を行います。

・株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。

【特色3】モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。

【特色4】為替ヘッジの有無により、「為替ヘッジあり」、「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」、および「為替ヘッジなし」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」があります。

・「為替ヘッジあり」、「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」は、外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。為替ヘッジに関しては、委託会社が行います。為替ヘッジを行う場合で、円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

※一部の通貨については、その通貨との相関が高いと判断される代替通貨により対円で為替ヘッジを行うことがあります。

・「為替ヘッジなし」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」は、外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

【特色5】「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」は、年1回(毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日))決算を行い、収益の分配を行います。「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」は、毎月の決算日(毎月23日(休業日の場合は翌営業日))の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

■為替ヘッジあり、為替ヘッジなし

・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

・委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。

・原則として、配当等収益の水準を考慮して分配します。

(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

■(為替ヘッジあり)予想分配金提示型、(為替ヘッジなし)予想分配金提示型

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

・原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、右記の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、右記に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

※基準価額が右記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。※基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合等は、テーブル通りの分配ができないことがあります。※右記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

決算日の前営業日の 基準価額	分配金額 (1万口当たり、税引前)
10,500円未満	基準価額の水準等を 勘案して決定
10,500円以上 11,000円未満	50円
11,000円以上 12,000円未満	100円
12,000円以上 13,000円未満	150円
13,000円以上 14,000円未満	200円
14,000円以上 15,000円未満	250円
15,000円以上	300円

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。

上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

■ 購入時

[購入時手数料] 購入価額に対して、上限3.30%(税抜 3.00%) 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。

■ 換金時

[信託財産留保額] ありません。

■ 保有期間中

[運用管理費用(信託報酬)] 各ファンドの日々の純資産総額に対して、年率1.980%(税抜 年率1.800%)をかけた額

[その他の費用・手数料] 以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。

- ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用
- ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
- ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
- ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等

※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。為替ヘッジあり/為替ヘッジなしについては、毎計算期間の最初の6か月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。(為替ヘッジあり)予想分配金提示型/(為替ヘッジなし)予想分配金提示型については、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※ ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料に関するご注意事項等

- 本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

【設定・運用は】三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号、加入協会:一般社団法人 投資信託協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会

R&Iファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」は過去3年間、「投資信託10年部門」は過去10年間、「投資信託20年部門」は過去20年間を選考期間としている。選考に際してはシャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウン、償還予定日までの期間、残高の規模等を加味したうえで選出している。選考対象は国内籍公募追加型株式投信とし、確定拠出年金専用およびSMA・ラップ口座専用は除く。評価基準日は2025年3月31日。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

販売会社情報一覧表 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

2025年7月1日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
株式会社あいち銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号	○		○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社秋田銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
いちよし証券株式会社(IFA専用)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBIネオトレード証券(為替ヘッジなしのみ取扱)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第8号	○		○	
岡崎信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第30号	○			
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
株式会社鹿児島銀行(委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第2号	○			
株式会社北九州銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第117号	○		○	
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長(金商)第18号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○			
ぐんざん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社京葉銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社七十七銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東北財務局長(登金)第5号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○	
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号	○	○		○
ソニー銀行株式会社(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号	○		○	○
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
CHEER証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3299号	○	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○		○	
ちばざん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
東洋証券株式会社(IFA専用)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号	○			
株式会社名古屋銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第19号	○			
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第25号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社八十二銀行(委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社肥後銀行(委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	○		○	
ひろざん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第44号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
PayPay証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2883号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○			
株式会社北洋銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北洋銀行(委託金融商品取引業者 北洋証券株式会社)	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
北洋証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長(金商)第1号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

販売会社情報一覧表 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

2025年7月1日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○		
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○
moomoo証券株式会社(為替ヘッジなしのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○	
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○	○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○		
朝日信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第143号	○		
足利小山信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号			
飯田信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号			
遠州信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第28号			
京都信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第52号	○		
呉信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号			
さわやか信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○		
城北信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○		
大地みらい信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第26号			
玉島信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号			
豊田信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第55号	○		
長野信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○		
西尾信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○		
西中国信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号			
八幡信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第60号			
備前日生信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第40号			
兵庫信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○		
福井信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号			
福岡ひびき信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○		
福島信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第50号			
宮城第一信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第52号			
いわき信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第59号			
群馬県信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第295号			
青和信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第276号			
長崎三菱信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第112号			
長野県信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第299号	○		
新潟県信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第297号			
飛騨信用組合*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第79号			
沖縄県労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第8号			
九州労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第39号			
近畿労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第90号			
四国労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第26号			
静岡県労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第72号			
中央労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第259号			
中国労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第53号			
東海労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第70号			
東北労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第68号			
長野県労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第268号			
新潟県労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第267号			
北陸労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第36号			
北海道労働金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第38号			

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

販売会社情報一覧表 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン 予想分配金提示型

2025年7月1日現在

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
いちよし証券株式会社(IFA専用)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第11号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社八十二銀行(委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
ほくほくTT証券株式会社(為替ヘッジなしのみ取扱)	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社(為替ヘッジなしのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○			
飯田信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
北伊勢上野信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
桐生信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
呉信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
白河信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号				
豊田信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第55号	○			
兵庫信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
福島信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第50号				
水島信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。